



松坂 順一 ガバナー

芝田 祐蔵 ガバナー補佐

仲田 憲仁 ガバナー補佐



クラブ協議会

島 清次・新崎 康幸 分区幹事

新垣 淑典 地区副幹事



会長報告

幹事報告

安里 政晃 親睦活動委員長

松坂ガバナーご一行をお迎えして親睦の握手

例会風景



週

報

インスピレーションに
なろう

Be the inspiration

パリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



第2705号

平成30年
11月27日
2018年
NOV

Rotary
那覇ロータリークラブ

第2829回 例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	81名
出 席 計 算 会 員	81名
出 席 席	41名
欠 席 席	40名
出 席 率	50.62%
訂 正 出 席 率	60.49%

ビジター 二宮 徹氏 (福岡城西)

比嘉 広明氏 (那覇西)

☆プログラム

12月4日 (火)

「M&Aを活用した成長戦略」

(株)日本M&Aセンター 沖縄営業所長

羽田 昌年氏

12月11日 (火)「未定」

(株)上間フードアンドライブ

代表取締役社長 上間 喜壽氏

12月18日 (火)「夜間例会家族会」18:00 点鐘

於：ホテルパームロイヤル NAHA レストラン

「イルフィオーレ」牧志 3-9-10 TEL865-5560

■理事会 12/4 (火) 11:30~

パシフィックホテル沖縄2階「マカハ」

■年次総会 12/4 (火) 例会中

★国際大会 (ドイツ・ハンブルグ) 早期登録は

My Rotary より 12/15 (土) までに。

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス : <http://naha-rc.org/>

会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一

幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(*^^)

小原 武夫 地区大会実行委員長 (東京練馬西)

加藤 幸男 地区大会副実行委員長 (東京練馬西)

来年2月に開催されます地区大会のご案内に伺いました。皆様のご来会をお待ちしております。ご支援ご協力をお待ちしております。ご支援ご協力宜しくお願い致します。

芝田 祐蔵 ガバナー補佐 (コザ)

仲田 憲仁 ガバナー補佐 (那覇北)

貴クラブの絆を素晴らしく感じました。次年度も頑張っていたきたい。IMありがとうございます。合掌。

島 清次 分区幹事 (コザ) 本日は、よろしくお願い致します。IMの際にはご苦勞様でした。本日の例会を楽しませていただきました。

新崎 康幸 分区幹事 (那覇北)

松坂順一ガバナー公式訪問、クラブ協議会おつかれ様でした。素晴らしいIMの設営、おもてなしありがとうございました。

新本 博司 GE 松坂ガバナー、小原地区大会実行委員長をお迎えして。ニコニコ。

山城 博美 会長 松坂ガバナーのご来会を心から歓迎して。ニコニコ。

亀川 榮一 会員 ガバナー公式訪問のクラブ協議会に欠席するはめになってしまった事をお詫び致します。ニコニコ。

安里 政晃 会員

松坂ガバナーの公式訪問を歓迎して。ニコニコ。

■幹事報告 松島 寛和 幹事

*第27回インターアクト沖縄分区国際通りクリーン奉仕活動 日時:12/7(金)16:45 開始式 17:00~ 清掃活動終了予定17:45

場所:ホテルロイヤルオリオン横広場集合 開会式後、那覇市役所までの約1キロをクリーン活動。終了後パレット久茂地屋上にて懇親会

■特別会計 2018~2019年度 ニコニコBOX

本日のニコニコBOX ¥21,000
ニコニコBOX 累計 ¥237,000

■会長報告

山城 博美 会長

*本日は松坂ガバナー、芝田、仲田両ガバナー補佐、島、新崎両分区幹事をお迎えしての公式訪問です。後ほど松坂ガバナーより講話を頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

■松坂順一ガバナーより表彰・委嘱状贈呈



*PHF:ロータリー財団へ累計1,000ドルを寄付された会員/MPHF:2,000ドル以上の寄付/PHS:毎年1,000ドルの寄付。

MPHF(+4)・第三回米山功勞米山奨学生試験面接官の任命を受ける新本博司会員 安里政晃会員 山城博美会員 亀川偉作会員 梶原浩美会員 杉本健次会員
フェロー(PHF)フェロー(PHF)フェロー(PHF)フェロー(PHF)フェロー(PHF)フェロー(PHF)の表彰をうける 表彰をうける 表彰をうける 表彰をうける

■第19回例会 講話「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第2580地区 松坂 順一 ガバナー (東京葛飾東)



「ロータリーについて学び議論してほしい」と語る 松坂ガバナー

全会員参加のクラブ協議会を

先ほどのクラブ協議会で、芝田ガバナー補佐が皆さんの意見をうまく引き出していた。こういう進め方は非常にいい。特に入会して日が浅い会員も多いので、来年度はガバナー公式訪問に合わせ、全員が参加する協議会を開いてほしい。協議会の場で、ロータリーの歴史を知りたいという話があった。1905年にシカゴロータリーができたのはご存じだろう。シカゴの初代会長が誰か答えられるだろうか。ポール・ハリスではない。シカゴは当時、荒れた町だった。どんなことをしても儲ければ勝ちという風潮だった。3代目会長になったハリスは新たな綱領にシカゴ市民のための奉仕活動を掲げ、市内になかった公衆トイレを造る活動に取り組み、寄付を呼び掛けて運動を巻き起こす。2年後には市役所と図書館の隣2カ所に造った。社会奉仕活動の始まりだ。単に親睦、お互いの職業を助け合うという考え方ではなく、奉仕活動も重要だという認識だった。ハリスが会長2期目の時、アーサー・フレデリック・シェルドンとチェスレー・ベリーが入る。ハリスは他の都市にも広め、ロータリアンを増やそうと提言するが、シカゴRCの中では受け入れられない。親睦し、お互いの仕事を助け合っていればいいじゃないかという考えの人がほとんどだった。ハリスが退いた後、ビジネススクールを主宰していたシェルドンはスクールで唱えていた事をロータリーの考えに取り入れシェルドンのスクールの卒業生が中心になり新たなクラブができ、1910年代に拡大した。ベリーも拡大に貢献した。↑

1910年代に16クラブが集まったところで、ベリーが中心となり全米ロータリー連合会をつくる。行き場がなかったハリスが会長に就く。シカゴRCができなかったクラブ拡大、会員増強、組織化を全米ロータリーが成し遂げた。1927年になって4大奉仕の考え、職業奉仕の考え方が出てくる。2003年に1業種5人まで拡大されたことが今のロータリー活動につながる大きな変革だった。1910年代にはシニアアクティブ会員などもつくり、10年、15年在籍した人はもう一人同業種から推薦できる仕組みがあった。03年の変革までそれは生きていた。那覇RCもシニアアクティブ会員制度を使っていたはずだ。1業種1会員は、原則であるが、厳格ではなかったのだ。

決議23-24を学び、共通認識を

決議23-24がある。新しい会員が増えているので、どういう経緯で決議されたかを共通認識として持っていないとロータリアンとしての本質的な活動が見えない。決議内容と経緯をしっかりと勉強し、活動してほしい。クラブ全体としての奉仕活動についての基本認識が問われる。ロータリーの草創期、アメリカでは小児麻痺による身体障害者が多くいた。障害児のためにお金を集めて寄付するクラブが増えたが、クラブは全体で奉仕活動する所ではないという意見との対立があり分裂状態になりかねない状況で決議がなされた。これは妥協案だったと思う。クラブ全体で奉仕活動する時は金銭的な条件が鮮明に付いていないという意見との対立があり分裂状態になりかねない状況で決議がなされた。これは妥協案だったと思う。クラブ全体で奉仕活動する時は金銭的な条件が鮮明に付いていないという意見との対立があり分裂状態になりかねないという判断があったのだろう。皆さんもどうとらえるか、学び、議論してほしい。クラブ会報委員長 松元 剛